

# いきいき

No. 35

令和4年  
3月発行



## 基本理念

本社会福祉法人は、歌志内市及び関係諸団体との相互理解と協力関係を基礎として、社会福祉の増進を図るため、その責任を共に担い、創造的な施設運営と在宅福祉の向上に取り組んで参ります。

～より自由に～

一人ひとりがその人らしく生きられる。

～より平等に～

人としての尊厳を守り、守られて安全、安心に生活すること。

～より優しく～

共に生きる喜びを分かち合うこと。

今回の表紙は2階のユニットレク【ハートの飾り作り】です。赤や黄色のハートの飾りを作りました。完成後は、居室内に飾られる方、居室入口の廊下に飾っている方など様々です。

さて、昨年は2020東京オリンピックの開催、今年に入り、北京オリンピックの開催等、感染対策・開催方法の検討により大会が行われました。依然として、続くコロナ禍の状況ではありますが、楽生園においても、【今】という時間を大切に、一日一日の生活を送って頂けるよう努めて参ります。コロナ終息の年となる事を願って…。



発行 〒073-0407 歌志内市字文珠244番地2  
社会福祉法人 ほく志会  
歌志内養護老人ホーム楽生園 広報委員会  
TEL.0125-42-2468 FAX.0125-42-2847



## ひな祭り



楽生園のお雛様・お内裏様です



## 手芸作品です



## 編集後記

新型コロナウイルスとの長期に渡る戦いも、未だに消息の出口が見えない状況が続いておりますが、入所者・利用者の皆様は元気に生活を送られています。写真は、マスク着用しており、表情が分かり辛い事もありますが、より多くの写真を掲載致しました。



ご厚意ありがとうございました  
物品 歌志内市 吉田 マツエ様  
金銭 砂川市 原 奉誠様  
物品 苫小牧市 養島 明美様  
物品 滝川市 有限会社アサヒ機材様  
物品 歌志内市社会福祉協議会様

## 職員紹介



いのうえ ゆづけ  
**井上 雄介**  
介護員

新しい環境で介護員として勤務し、早一ヶ月が経ちました。覚えるまで迷惑かけますが、一生懸命努力しますのでよろしくお願ひします。

福 節分

節分は、文字通り季節の分かれ目を言います。節分の豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式です。楽生園でも節分に豆まきを行い、病気や災害の厄払いを行いました。鬼が来てびっくりされる方や昔ながらの風習を楽しまれた方などたくさんの方に参加して頂きました。



令和3年9月以降の行事風景をお届けします。

- ・りんご狩りは、毎年お世話になっています三谷果樹園に行きました。
- ・クリスマス会は職員の余興、プレゼントは洋服でした。
- ・もちつき大会では、職員のみで対応するはずでしたが、経験値が低く（涙）最終的には入居者の方の力添えを頂き何とかお餅を作る事が出来ました。
- ・書き初めは、講師の題材を基に行いました。【大寒】
- ・新春わなげ大会は、新年最初の行事として開催しました。簡単そうでもなかなか上手く入らなかったりとたいへん盛り上がりました。

